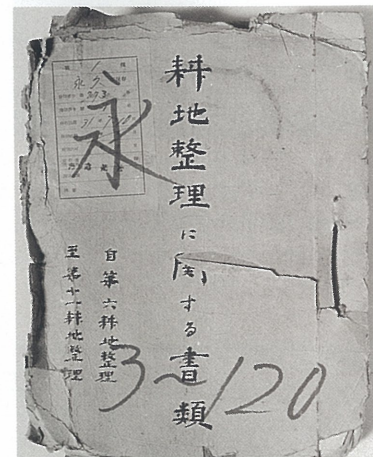


3 住宅地の形成

交通の発達によって、山手の丘陵地に芦屋川をはさんで住宅建設が延び、広大な住宅街が形成されました。また、12回におよぶ耕地整理を行い、市街地は宮川上流の打出丘陵地へ発展していきました。



昭和10年ごろの山手方面の航空写真 中央に見えるのは山手小学校。



耕地整理に関する書類 著しく細分化されかつ不整形な農地を整理し、農業近代化をはかるため、明治政府は明治32年「耕地整理法」を公布、芦屋でも大正5年から大正9年間に13組合が組織され山手地区を除いてほとんどの地区で耕地整理が実施された。



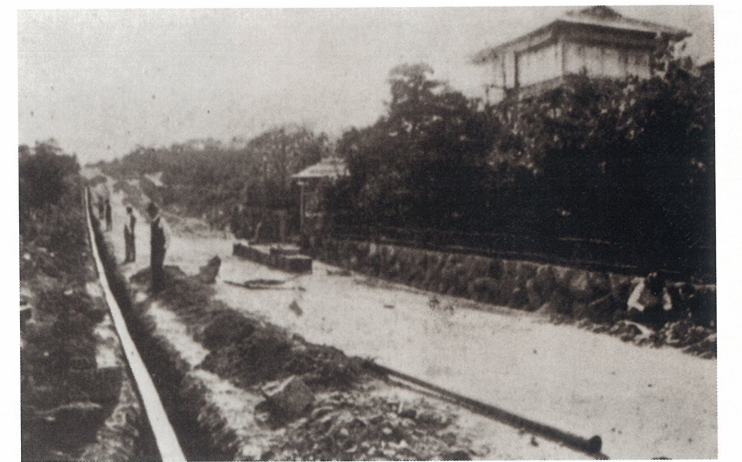
精道村略図 昭和10年ごろの精道村略図の一部。別荘地として最初に開かれた「松風山荘」の文字が見える。



造成中の六麓荘住宅地 昭和初期「東洋一の健康地」をキャッチフレーズに、株式会社六麓荘が、昭和4年、国有林の払い下げを受け、住宅地建設を始めて、昭和6年竣工した。上・下水道、ガスとともに電気線、電話線も地下配線工事による画期的な試みがなされ、交通機関は六麓荘乗合自動車が運行された。



水道、ガス、電気地下埋設工事



電話地下配線工事

東洋一の健康地
(芦屋) 山手 六麓
六麓荘住宅地案内

住宅の定選は交通の至便に
文藝設備の完備に健康の地に

大阪府北区樋上町
株式会社六麓荘
電話 北三六一六
電話 芦屋三六八二

六麓荘乗合自動車

路線概図

区間	運賃
六麓荘 - 山手	五銭
六麓荘 - 芦屋	五銭
六麓荘 - 宮川	五銭
六麓荘 - 大宮	五銭
六麓荘 - 大塚	五銭
六麓荘 - 大塚	五銭
六麓荘 - 大塚	五銭
六麓荘 - 大塚	五銭
六麓荘 - 大塚	五銭
六麓荘 - 大塚	五銭

運賃時間
午前六時ヨリ
午後十一時マデ
毎日朝七時ヨリ
夜九時マデ
六麓荘乗合自動車

六麓荘売り出し当時のカタログ